

## 子どもをリードして「楽しませる」保育ではなく

保育所保育指針にもあるように、保育の基本は「環境を通した、子ども中心の活動」です。保育者がリードばかりしていたら、もっとも引き出したい子どもの自発性を阻害しています。

たとえ0・1・2歳児であっても、遊びに欠かせないのは、まず「興味をそそる環境」です。保育は「明日はどんな遊びで楽しませよう？」よりも、まず、子どもの興味を、一人ひとりづさに観察し、それに合わせた「環境設定」から。

「子どもを上手に引きつけることが、保育者の専門性」ととらえるのは、もはや時代遅れ。

はーい、  
ウサギぐみさん♪  
エプロンシアターだよ。  
集まって～！



私、子どもを  
引きつけられてるよね♥  
楽しませてあげてるよね♥

↑この有能感は古い

※この関わりが悪いわけではありません。  
それに偏らず、タイミングを計ればOK。

今、求められているのは、子どもの興味を探り、それに合わせた多様な環境を設定し、さらにそれを臨機応変に改変できる力です。

ウサギを飼っている



よくここに来てるね。  
ウサギが好きなの？  
それとも動物一般？

環境設定

園外へ動物を見に



ウサギの人形



園のウサギの  
パネルシアター



動物の写真



あ、ウサギの人形で  
ままごと！  
もっとままごと  
コーナーも充実しよう！



私、環境を整えられてるよね♥  
子どもの自発性を引き出せてるよね♥

↑先生に感じてほしい有能感はこっち！